



12/28 小学校にグローブが届きました!

メジャーリーガー大谷翔平さんが日本全国の小学校に寄贈するグローブが、尾道市の小学校にも届けられました。冬休み中、偶然学校にいた子どもたちは大喜びで交代にグローブを手にしていました。各小学校には、右利き用2つと左利き用1つのグローブが「野球しようぜ。」という言葉で締めくくられた手紙とともに贈られています。



1/5 威勢よく、新年初市

江戸時代から300年以上続くとされる尾道浜問屋協同組合の「新年初市」が住吉神社境内で開催されました。神事に続いて、ちりめん、煮干しいりこ、えび、昆布、するめなど35品目が競りに掛けられ、約60人の仲買人により、威勢の良い掛け声のなか競り落とされました。福島光宏理事長(66)は、「昨年は、国内産の昆布やイカは不漁で、価格が高騰したが、初市には高品質の品を揃えた。今年は大漁となり、それが消費者の皆さんに届いて、よい循環の中で商いが盛り上がれば」と話していました。



1/7 祝! 令和6年尾道市成人式

こぞかなくんスポーツパークびんごで、令和6年尾道市成人式が開催され、今年度20歳を迎える、899人が参加しました。式典では、尾道ベッチャー太鼓のアトラクションで幕をあげ、代表の出田美亜穂さん、高橋克弥さんの2人が「二十歳の誓いの言葉」として抱負と決意を語りました。このほか、中学校当時に合唱コンクールで歌った映像や、小中学校の恩師や、尾道にゆかりのある人からのビデオメッセージが披露され、20歳の門出を祝いました。



1/8 煩惱を焼き尽くす「火渡り神事」

西國寺で、恒例の「紫燈大護摩法要」が行われました。紫燈護摩とは、不動明王と自分自身が一体となり、煩惱を焼き尽くして願いが成就することを目的とした、古来より伝わる修行の一つだそうです。法要の後、山伏姿の行者が火の中を渡り、つづいて鉢巻姿の参拝者が火渡りに挑みました。今年1年の無病息災や家内安全を願って、約200人が火渡りに挑戦しました。